

<帯広の森野球場での練習>

8月28日(月)・29日(火)・31日(木)に帯広の森野球場をお借りして16:00~18:00という短い時間でしたが、秋季大会が実際に行われる球場で最終確認を行いました。今までの練習試合の反省を活かし、特に連携プレー、フォーメーションの確認を中心に行いました。公立高校として野球の技量だけでは勝負できない分、何を持ってその野球の技量をカバーするかです。新チームになっての出来事や野球の結果を通して、選手が何を感じ、何をこれから実践してくれるのか、監督としては期待して選手の様子を伺っているところです。外野の声は色々ありますが、この合宿、遠征、帯広での練習で感じたこと、考えたこと、気付いたこと、そして自分たち選手で話し合ったこと。緩まらずに妥協せずに外野の声に惑わされずに、自分たち選手で貫くことです。高校生がやる高校野球。自分自身で自分を成長させ、色々なことから自立し、自分の力で困難を乗り越え、自分で自分自身を信じプレー、生活ができる選手・人間になってもらいたいと思っています。



<対戦相手が決まりました>

8月30日(水)秋季大会の抽選会が行われました。1回戦は9月10日(日)の第2試合、対戦相手は連合チームです。試合まで短い期間ですが、今までのいきさつとプロセスで感じたこと、自分たち選手で話し合っただけで約束したこと、色々なきっかけをもらい進むべき道が見えてきたこと、その作業の精度を高めることです。緩まないことです。妥協しないことです。外野の声に惑わされないことです。最後の最後まで信じ継続することです。帯広の森野球場で行われる秋季大会、21名全員が自信を持って『負けられない』という気持ちを忘れず、秋季大会が終了するまで戦闘能力を日々上げてください。野球の練習で技量も上げつつ、常に戦闘能力を持って取り組み、個人、チームとしての戦闘能力を上げる努力を21名全員が実践することです。普段の練習・生活で自分自身に打ち勝ち、秋季大会ではたくましく成長した南商野球部で当日を迎え、対戦相手に勝利してほしいと思っています。そのためには普段の練習です。普段の生活です。対戦相手に勝利する前に自分自身に打ち勝つことです。



<激励会を開いていただきました>

9月3日(日)父母の会主催の秋季大会激励会を開いていただきました。総勢60名という過去最多の参加人数でした。父母の方々、お忙しいところ本当にありがとうございました。選手共々もう一度気を引き締め、当日を迎えたいと思っています。朝早くからお弁当を作ってもらっていること。朝早く、夜遅くの送迎。合宿・遠征に行かせてもらっていること。そして野球をやらせてもらっていること。すべてが当たり前ではないのです。誰かに頼まれてやっている訳ではないのです。自分で選び自分で決断してやっている高校野球だということを忘れないことです。やって当たり前だと思うから言い訳や不平不満が出ます。色々な協力があつての高校野球、親でもない赤の他人が協力し期待をしてくれている高校野球、人の想いを理解でき、感謝する気持ちが芽生えた時に、くじけそうな時、辛く苦しい時を踏ん張れます。そして、そんな気持ちで普段の練習・生活で努力を積み上げているからこそ、本番に自分が持っている以上の力を発揮できます。人の想いを理解すること。感謝する気持ちを持つこと。もう一度冷静に今の生活を振り返ってみるということです。気付かないよりは、遅くても今気付くことです。

